

## 目次

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| はじめに.....                       | i  |
| DAQStudio に必要な PC システム環境 .....  | ii |
| 1. 概要 .....                     | 1  |
| 2. 作成前の準備 .....                 | 3  |
| 3. DAQStudio での操作 .....         | 4  |
| 3.1 新規作成画面を開く .....             | 4  |
| 3.2 部品を作成する .....               | 5  |
| 3.3 部品属性を設定する .....             | 10 |
| 3.4 画面データを保存する .....            | 12 |
| 3.5 GX/GP に画面データを送信する .....     | 13 |
| 3.6 DAQStudio を終了する .....       | 13 |
| 4. GX/GP での操作 .....             | 14 |
| カスタムディスプレイを表示する .....           | 14 |
| 付録 1 トリガに対応した部品の表示を設定する .....   | 15 |
| 付録 2 部品アイコン一覧 (GX/GP 用) .....   | 16 |
| 付録 3 メニュー、アイコン一覧 .....          | 18 |
| 付録 4 その他の操作 .....               | 20 |
| 付録 5 外部記憶メディアから画面データを読み込む ..... | 21 |
| 技術資料 改訂情報                       |    |



# はじめに

本書は、GX10/GX20/GP10/GP20 ペーパーレスレコーダ(以下、GX/GP と表記)のカスタムディスプレイ画面を DXA170 DAQStudio(以下、DAQStudio と表記)を使用して作成する手順を説明したものです。

本書では、GX10 と DAQStudio を使用して説明しています。ほかの機種でも操作手順は同じです。詳細は、各製品のユーザズマニュアルを参照してください。

## ■ 対象商品

DXA170 DAQStudio( リリース番号 : R5.02.01)

GX10/GX20 ペーパーレスレコーダ (付加仕様 /CG)( リリース番号 : R4)

GP10/GP20 ペーパーレスレコーダ (付加仕様 /CG)( リリース番号 : R4)

## ■ ご注意

- 本書の内容は、性能・機能の向上などにより将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審の点や誤りなどお気きのことがありましたら、お手数ですが、当社支社・支店・営業所までご連絡ください。
- 本書の内容の全部または一部を無断で転載、複製することは禁止されています。

## ■ 商標

- 本書で使用の当社製品名またはブランド名は、当社の商標または登録商標です。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。
- 本書では各社の登録商標または商標には、™ マーク、® マークは表示していません。
- 本書で使用の各社製品名は、各社の商標、または登録商標です。

# DAQStudioに必要なPCシステム環境

## ● オペレーティングシステム(OS)

次の OS で動作します。

- Windows 7 Home Premium (32 ビット版、64 ビット版)
- Windows 7 Professional (32 ビット版、64 ビット版)
- Windows 8.1 (32 ビット版、64 ビット版)
- Windows 8.1 Pro (32 ビット版、64 ビット版)
- Windows 10 Home (32 ビット版、64 ビット版)
- Windows 10 Pro (32 ビット版、64 ビット版)

オペレーティングシステムの言語とソフトウェアの表示言語は次のとおりです。

OS の言語      ソフトウェアの表示言語 (インストールできるソフトウェア言語)

| OS の言語 | ソフトウェアの表示言語<br>(インストールできるソフトウェア言語) |
|--------|------------------------------------|
| 日本語    | 日本語                                |
| 英語     | 英語                                 |
| 中国語    | 中国語                                |
| ドイツ語   | ドイツ語                               |
| フランス語  | フランス語                              |
| ロシア語   | ロシア語                               |
| 韓国語    | 韓国語                                |

## ● パーソナルコンピュータ本体

### マシン機種

上記の OS が動作し、下記の CPU とメモリを搭載した機種。

### CPUと主記憶容量

Pentium 4 3GHz 以上のインテル社製 x64 または x86 プロセッサ。  
2GB 以上のメモリ

## ● ハードディスク

空き容量が 100MB 以上。

## ● CD-ROMドライブ

OS に対応した CD-ROM ドライブ。インストール時に使用します。

## ● マウス

OS に対応したマウス

## ● ディスプレイ

OS が推奨するビデオカードと OS に対応した 1024 x 768 ドット以上、65,536 色 (16 ビット、High Color) 以上のディスプレイ。

## ● 通信ポート

OS に対応したイーサネットポート (10Base-T)。また、TCP/IP プロトコルがインストールされていることが必要です。

# 1. 概要

カスタムディスプレイは、任意に作成した画面をペーパレスレコーダGX/GPのモニタ画面として利用できる機能です。

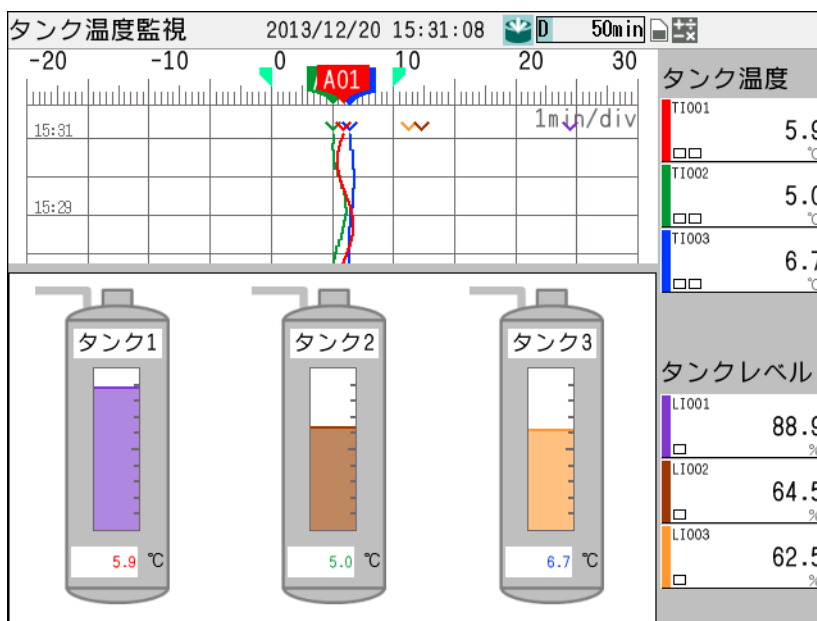
トレンド表示、デジタル表示、バーグラフ表示などのほか、画像データも配置できます。現場のイメージに合わせた画面を作成することで、実際の工程を直感的に監視できます。

- ・トレンド表示部は、メッセージの書き込みと表示ができます。
- ・フルカラー(24ビットRGBまたは32ビットRGBA)の画像(PNG)を表示できます。

カスタムディスプレイ画面は、専用のソフトウェア(DXA170 DAQStudio)で作成します。作成したカスタムディスプレイ画面は、DAQStudioからEthernet通信、または外部記憶メディア(SDカード)を介して、GX/GPで表示することができます。

下記の画面は、タンク内の温度とレベルをカスタムディスプレイ画面で、監視・記録している例です。

本書では、下記の画面(以降「画面例」と表記)でカスタムディスプレイ画面の作成手順を説明します。



## ■ カスタムディスプレイ作成の流れ

### 作成前の準備

- ・カスタムディスプレイ画面の概略図を作成する
- ・画像ファイルを用意する（画像を使用する場合）

### DAQStudio での操作

新規作成画面を開く

部品を作成する

部品属性を設定する

画面データを保存する

GX/GP に画面データを送信する

DAQStudio を終了する

### GX/GP での操作

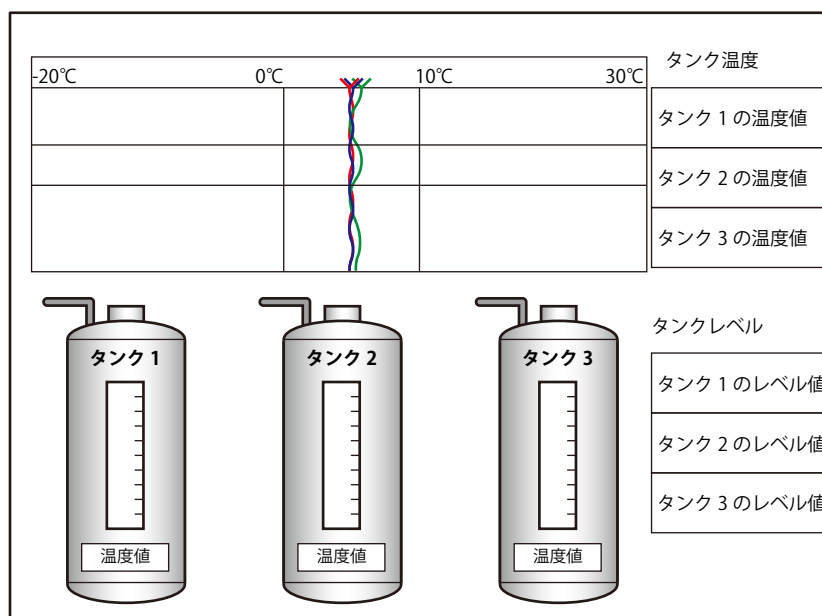
GX/GP でカスタムディスプレイ画面を表示する

## 2. 作成前の準備

### ■ 作成するモニタ画面の概略図を作成する

DAQStudio でカスタムディスプレイを作成する前に、画面の概略図を作成し、デジタル値、トレンド、図形等の配置を決めておきます。

DAQStudio では、画面に配置するデジタル値やトレンドなどを部品と呼んでいます。



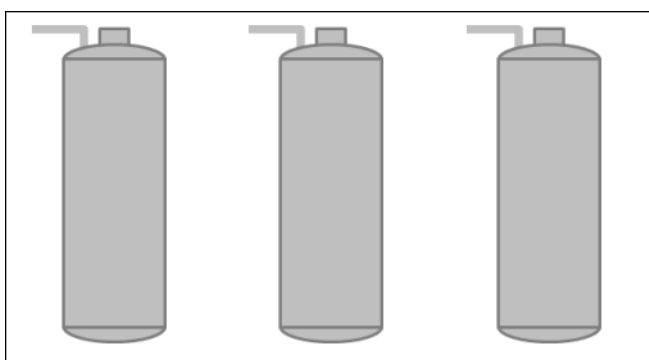
### ■ PNGファイルを用意する(画像データを入れる場合のみ)

カスタムディスプレイに画像を使用する場合に必要です。

ファイル形式：PNG

ファイル名：半角英数字 32 文字まで

「画面例」では、タンクの表示に以下の PNG ファイルを使用しています。



画像サイズ：506 × 275 (ピクセル)

GX/GP で表示できる PNG ファイルの画像サイズは、以下の範囲内です。

**GX10/GP10**：幅 640 ピクセル以下×高さ 480 (450\*) ピクセル以下


**GX20/GP20**：幅 800 ピクセル以下×高さ 600 (570\*) ピクセル以下

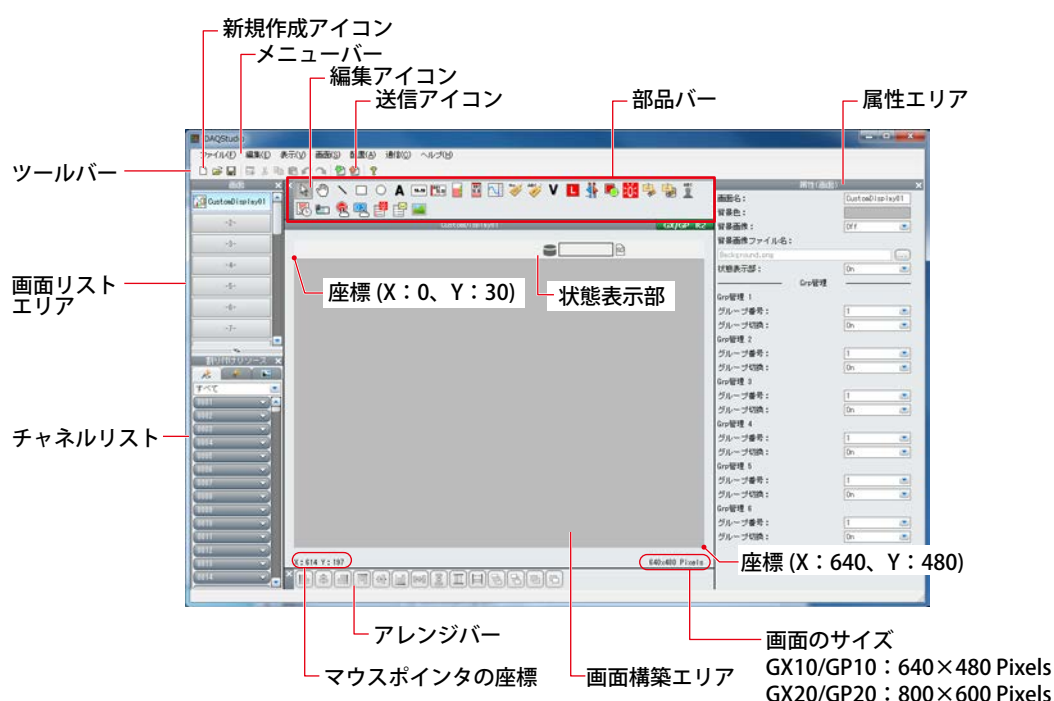
\* 画面の「状態表示部」を初期値のまま (On) で使用する場合

- ・ 画像サイズは、幅と高さのどちらか一方でも超えると GX/GP では表示できません。
- ・ 画像は、縮小して表示することはできません。表示するサイズを決めて、そのサイズに調整した PNG ファイルを用意してください。

## 3. DAQStudioでの操作

### 3.1 新規作成画面を開く

1. Windows スタートメニューの「すべてのプログラム」 - 「DAQStudio」 - 「DAQStudio」をクリックし、DAQStudio を起動します。
2. メニューバーの「ファイル」 - 「新規作成」を選択、または新規作成アイコン (  ) をクリックします。  
「新規作成」ダイアログが表示されます。
3. 機種で「GX10/GP10」を選択し、「OK」ボタンをクリックします。  
GX10/GP10 用の新規作成画面が開きます。  
本体リリース番号は、初期設定のままにします。



**重要** 新規作成画面を開くと、作成中の画面データ(画面リスト含む)は破棄されます。作成中の画面データを保存する操作は、「3.4 画面データを保存する」をご覧ください。



## 3.2 部品を作成する

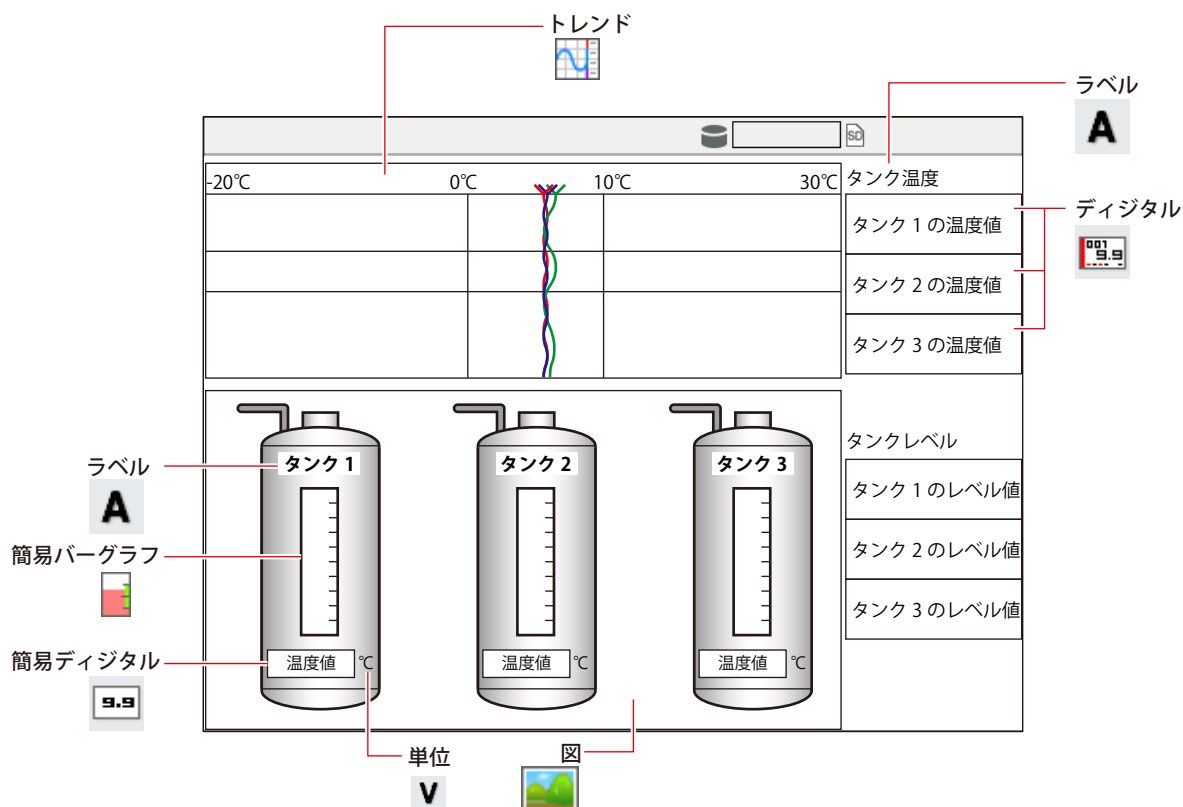
トレンドやデジタル等の部品を画面構築エリアに作成します。

作成する順番に制限はありません。あとから作成した部品が前面に配置されますが、配置順序（最前面 / 最背面 / 前面 / 背面）は、いつでも変更できます。

トレンド表示部品と静止画表示部品（図）には、部品同士が重なったときに表示されない制限があります（詳細は、ユーザズマニュアル参照）。

トレンド表示部品（トレンド）に、ほかの部品が重なった場合、上下の配置順に関係なくトレンドのみ表示します（ほかの部品は表示されません）。トレンド同士が重なると、上側のトレンドのみ表示します。静止画表示部品同士が重なった場合、下側の静止画表示部品は表示されません。静止画表示部品同士が重ならないように配置してください。

「画面例」で使用する部品アイコンを以下に示します。



| アイコン | アイコン名称  | 部品種類               | 説明  |
|------|---------|--------------------|---|
|      | トレンド    | トレンド表示部品           | トレンドを表示する部品です。  |
|      | デジタル    | チャンネル割り当て部品 (一般部品) | 割り当てたチャンネルの測定データをデジタル値で表示する部品です。チャンネル番号やアラームインジケータ等を表示できます。 |
|      | ラベル     | ラベル部品 (一般部品)       | 任意の文字列を表示する部品です。  |
|      | 図       | 静止画表示部品 (一般部品)     | PNG形式の静止画を表示する部品です。   |
|      | 簡易バーグラフ | チャンネル割り当て部品 (一般部品) | 割り当てたチャンネルの測定データをバーグラフで表示する部品です。                            |
|      | 簡易デジタル  | チャンネル割り当て部品 (一般部品) | 割り当てたチャンネルの測定データをデジタル値で表示する部品です。                            |
|      | 単位      | チャンネル割り当て部品 (一般部品) | 割り当てたチャンネルの単位を表示する部品です。                                     |

部品アイコンの一覧は、付録 2 をご覧ください。

## ■ 部品作成の主な操作と説明

1つの画面に作成できる部品の総数は210個です。

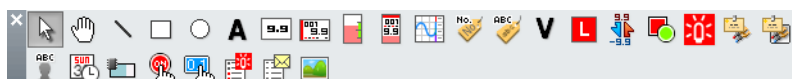
一般部品は200個まで、トレンド表示部品は6個まで、サマリ表示部品(アラームサマリ/メッセージサマリ)は4個まで作成できます(詳細は、ユーザーズマニュアル参照)。

### グリッドの設定

画面構築エリアには、グリッド(1/5/10/20/50ドット)を設定できます。初期値は、1ドットです。グリッドは、1ドット以外に設定すると表示されます。設定したグリッド上に部品を配置できます。

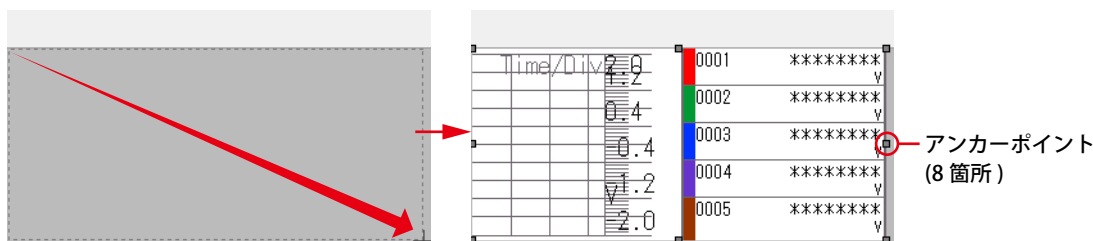
### 部品の作成

1. 部品バーから作成したい部品アイコンをクリックします。



2. 画面構築エリアにマウスポインタを置き、ドラッグします。

ドラッグした大きさの部品が作成されます。部品サイズは、作成したあとでも変更できます。



部品を作成すると、作成した順にID番号が割り当てられますが、特に意識する必要はありません。

### 部品の選択

部品バーの編集アイコン(🖱️)で、部品をクリックします。

複数の部品を選択するには、ShiftキーまたはCtrlキーを押しながら、部品を1個ずつクリックするか、マウスポインタをドラッグして部品を囲みます。

### 基準部品

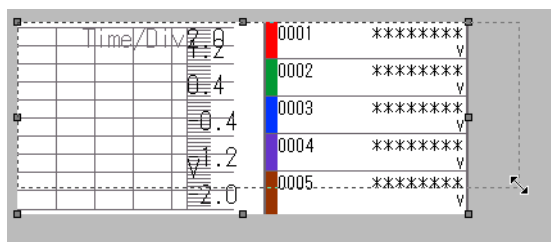
部品を複数選択して部品の位置を整列するときなどに、基準になる部品です。基準部品のアンカーポイントは、灰色で表示されます。

部品を複数選択した状態で基準部品を変更するには、Ctrlキーを押しながら基準にしたい部品をクリックします。

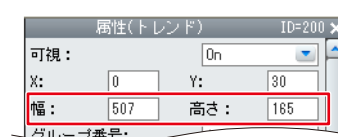
### 部品サイズの変更

部品を選択した状態で、アンカーポイントをドラッグするか、属性エリアの「幅」と「高さ」の数値を変更します。

ドラッグしてサイズ変更



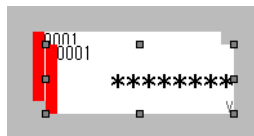
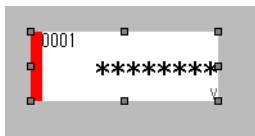
属性の設定でサイズ変更



## コピー/貼り付け

同じ部品は、コピーして作成することができます。

1. コピー元になる部品を選択します。
2. 編集メニューの「コピー」を選択、またはコピーアイコン(📄)をクリックします。
3. 編集メニューの「貼り付け」を選択、または貼り付けアイコン(📄)をクリックします。

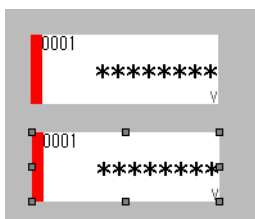


## 部品の移動

部品を選択してドラッグするか、キーボードの矢印キーで移動します。

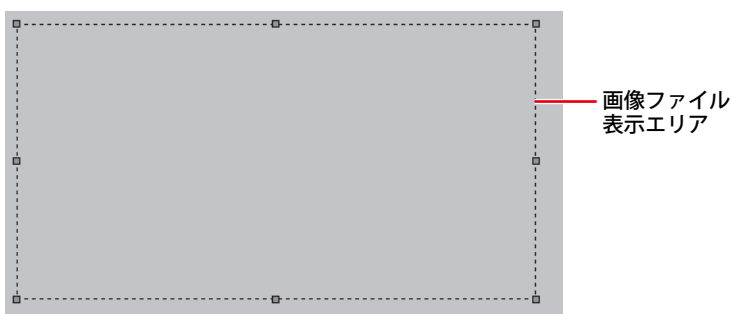
属性エリアのXとYの値を変更して移動することもできます。

画面に表示される部品の座標(X、Y)は、部品の**基点**です。基点は、部品の左上頂点です。

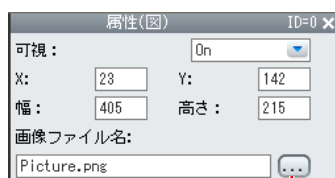


## 画像の配置

1. 部品バーの図アイコン(🖼️)をクリックします。
2. 画面構築エリアにマウスポインタを置き、適当なサイズにドラッグします。



3. 属性エリア(図)のファイル参照ボタンをクリックします。



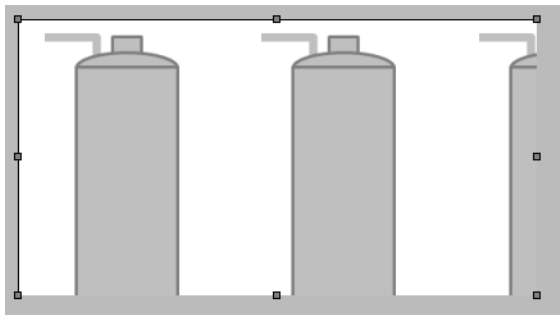
ファイル参照ボタン

ファイルを開くダイアログが表示されます。

4. 画像ファイル (PNG) を選択して「開く」ボタンをクリックします。

読み込んだ画像が表示されます。

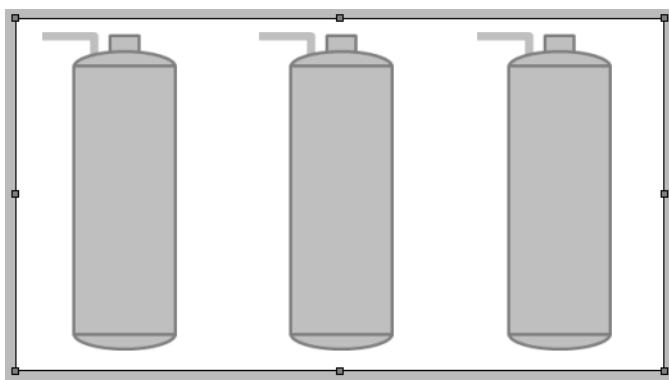
読み込んだ画像ファイルが、画像ファイル表示エリアよりも大きい場合、はみ出した部分は表示されません。



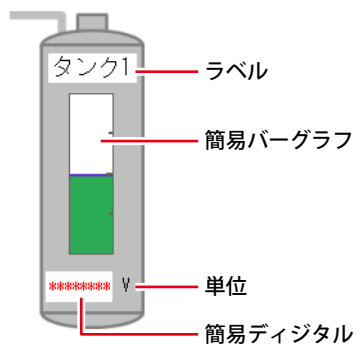
5. 属性エリアの幅と高さには、読み込んだ画像ファイル (PNG) の幅と高さを入力します。

画像が、すべて表示されます。

アンカーポイントをドラッグして、サイズを変えても表示できます。



タンクの画像に部品を重ねて配置することで、「画面例」(下図)のようなタンクを作成します。

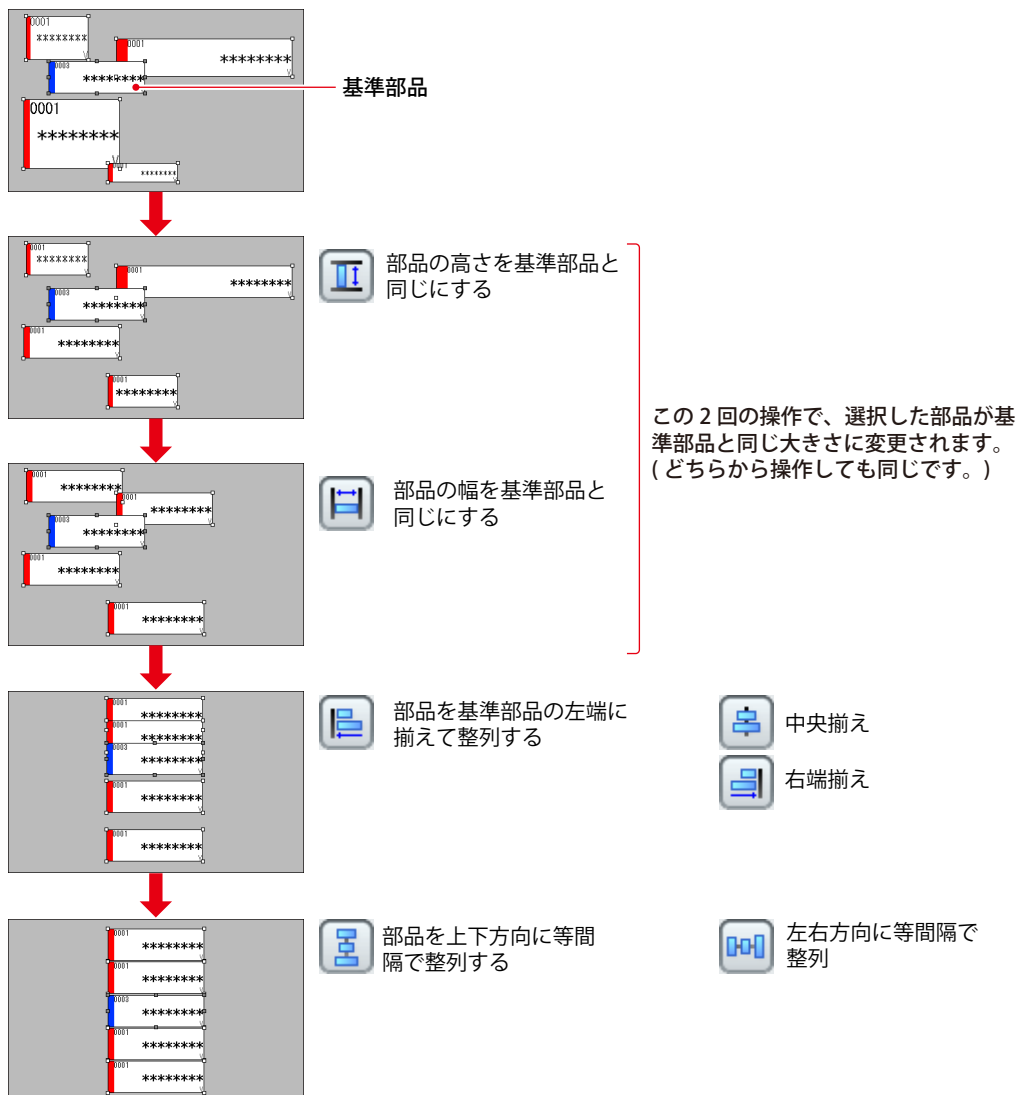


注記 1: 図部品を複数配置するときは、図部品同士を重ねないように配置してください。重ねて配置すると、下側の図(画像)は表示できません。

注記 2: 単位の表示は、DAQStudio 上では「V」が表示されます。GX/GP では、単位部品に割り当てたチャンネルの単位を表示します。

## アレンジャーの使い方

アレンジャーのアイコンを使って、部品の配置や大きさを簡単に変更できます。操作は、複数の部品を選択して、アレンジャーのアイコンをクリックするだけです。



部品を基準部品の  
上端 / 中央 / 下端に揃えて整列  
する場合に使用します。

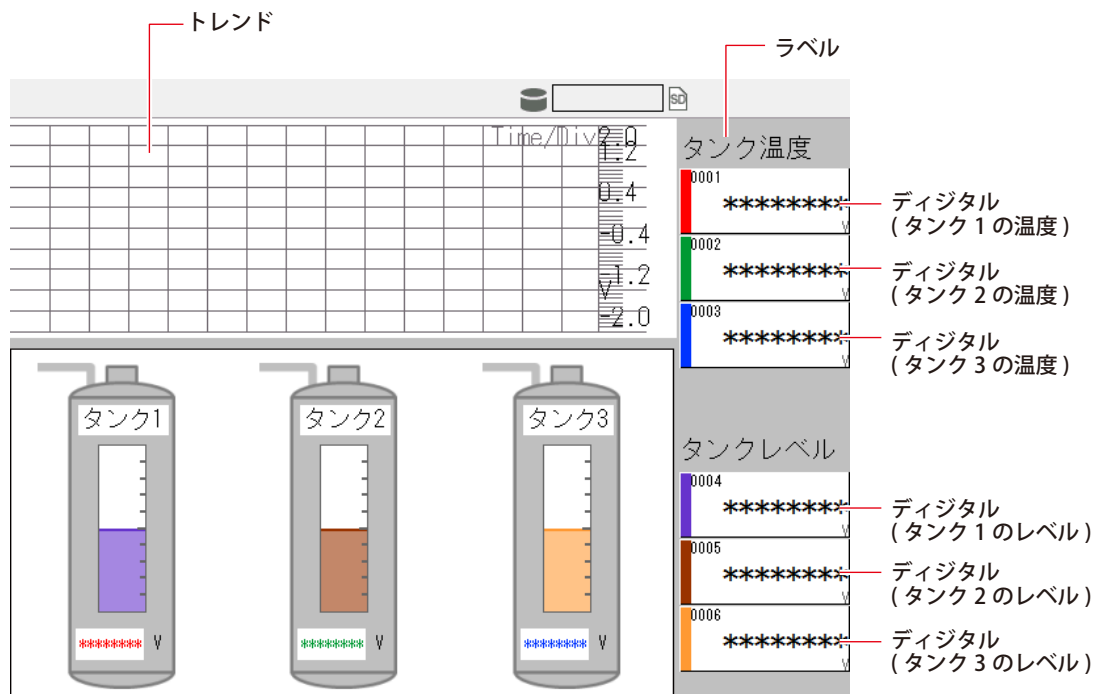


部品の配置順序を  
最前面 / 最背面 / 前面 / 背面に  
移動する場合に使用します。

### 3.3 部品属性を設定する

配置した部品の属性を設定します。

以下は、「画面例」の作成で初期値から変更した属性のみ説明します。説明がない部品は、初期値のまま変更していません。部品属性の詳細は、ユーザーズマニュアルを参照してください。



#### トレンド

デジタル表示：Off

トレンド部品を新規で作成すると、デジタル値が表示されます(サイズが小さいと表示されません)。「画面例」では、波形のみ表示しますので、デジタル表示を「Off」に設定します。

- ・ 波形方向は、「設定値」(初期値)です。設定値とは、GX/GP 本体の設定に依存することです。GX/GP 本体の設定に依存させない場合は、縦または横を設定します。

#### デジタル

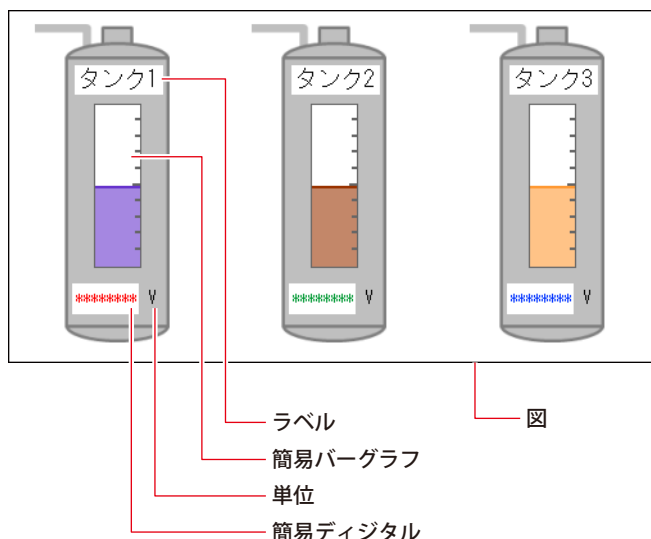
チャンネル：測定チャンネルをそれぞれに割り当てます。「画面例」では以下のように設定しています。

|     | タンク 1 | タンク 2 | タンク 3 |
|-----|-------|-------|-------|
| 温度  | 0001  | 0002  | 0003  |
| レベル | 0004  | 0005  | 0006  |

部品にチャンネルを割り当ててる場合は、チャンネルリストからチャンネルを部品へドラッグ&ドロップするか、または属性エリアで設定します。

チャンネルリストからの操作は、本書の付録 4 をご覧ください。

枠：凸枠



## ラベル

文字列：タンク 1、タンク 2、タンク 3

半角、全角に関わらず 64 文字まで入力できます。

背景色：選択色

背景色定義：白 (赤：255、緑：255、青：255)

## 簡易バーグラフ

チャンネル：表示する測定チャンネルをそれぞれに割り当てます。

| タンク 1 | タンク 2 | タンク 3 |
|-------|-------|-------|
| 0004  | 0005  | 0006  |

## 単位

チャンネル：表示する測定チャンネルをそれぞれに割り当てます。

| タンク 1 | タンク 2 | タンク 3 |
|-------|-------|-------|
| 0001  | 0002  | 0003  |

## 簡易デジタル

チャンネル：表示する測定チャンネルをそれぞれに割り当てます。

| タンク 1 | タンク 2 | タンク 3 |
|-------|-------|-------|
| 0001  | 0002  | 0003  |

文字色：チャンネル色

## 画面の属性

画面名：タンク温度監視 (半角 16 文字、全角 8 文字まで設定可)

GX/GP 運転画面の状態表示部に表示されます。DAQStudio では、画面リストに表示されます。初期値は、「CustomDisplay01」です。

画面名の設定は、部品を作成する前でも、作成したあとでも可能です。画面構築エリアの部品がない場所をクリックすると、画面の属性が表示されます。

## 3.4 画面データを保存する

1. メニューバーの「ファイル」 - 「フォルダを指定して保存」を選択します。  
フォルダの参照ダイアログが表示されます。
2. フォルダを指定するか、または「新しいフォルダ」ボタンをクリックして、フォルダを作成します。  
「新しいフォルダ」ボタンをクリックした場合は、作成するフォルダ名を入力します。
3. 「OK」ボタンをクリックします。  
画面データが保存されます。別のフォルダからファイルを開いたり、別のフォルダへファイルを保存しない限り、このフォルダが保存対象フォルダになります。



**重要**

- 画面データ保存時に、ネットワークフォルダや圧縮フォルダは指定できません。
- 画像ファイル(PNG)は、画面データと同じフォルダに保存してください。

上書き保存する場合は、メニューバーの「ファイル」 - 「上書き保存」、または上書き保存アイコン (  ) をクリックします。

ファイルの保存フォルダを指定すると、画面リストエリアの画面情報をすべて保存します ( 下図参照 )。保存されるときファイル名は以下のとおりです。

| 初期状態での画面リストエリアの画面名              | 保存ファイル名      |
|---------------------------------|--------------|
| CustomDisplay01                 | Custom01.GCD |
| -2- (画面を追加すると CustomDisplay02)  | Custom02.GCD |
| -3- (画面を追加すると CustomDisplay03)  | Custom03.GCD |
| ↓                               | ↓            |
| -28- (画面を追加すると CustomDisplay28) | Custom28.GCD |
| -29- (画面を追加すると CustomDisplay29) | Custom29.GCD |
| -30- (画面を追加すると CustomDisplay30) | Custom30.GCD |

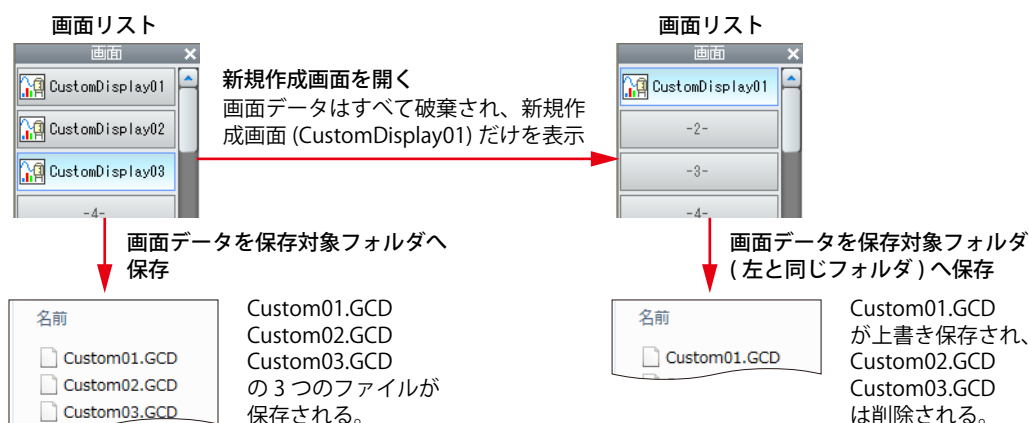
画面名は、画面の属性で変更できます。



**重要**

保存されるファイル名は固定です。ファイル名は、変更しないでください。ファイル名を変更すると、GX/GPで画面データを読み込めません。

### 画面リストエリアと保存ファイル





## 3.5 GX/GPに画面データを送信する

Ethernet通信経由で画面データを送信する手順です。

1. GX/GP に送信するカスタムディスプレイ画面を表示します。
2. メニューバーの「通信」-「送信」を選択、または送信アイコン(📧)をクリックします。「送信」ダイアログが表示されます。




3. GX/GP 本体の IP アドレス / ホスト名、ユーザ名を入力します。  
送信する GX/GP 本体にユーザ名が設定されていないときは「admin」を入力します。
4. 「送信」 ボタンをクリックします。  
メッセージが表示されます。
5. 「OK」 ボタンをクリックします。  
表示中の画面データと、使用している画像ファイル (PNG) が GX/GP へ送信されます。

外部記憶メディア (SD) を使用して、画面データを GX/GP で表示することもできます。  
表示方法は、付録 5 をご覧ください。



画面データ(GDC)と画像ファイル(PNG)は、同じフォルダへ格納してください。

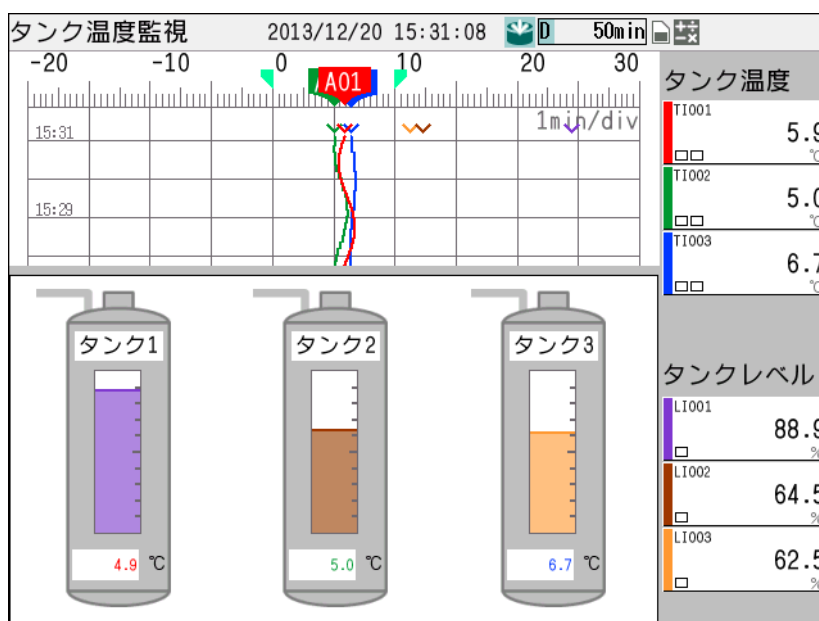
## 3.6 DAQStudioを終了する

1. 「ファイル」メニューの「終了」を選択、またはメイン画面右上の「」閉じるボタンをクリックします。  
編集中の画面がない場合は、DAQStudio を終了します。  
編集中の画面がある場合は、画面を保存する / 保存しないを確認するメッセージが表示されます。
2. 「はい」または「いいえ」ボタンをクリックします。  
DAQStudio を終了します。

## 4. GX/GPでの操作

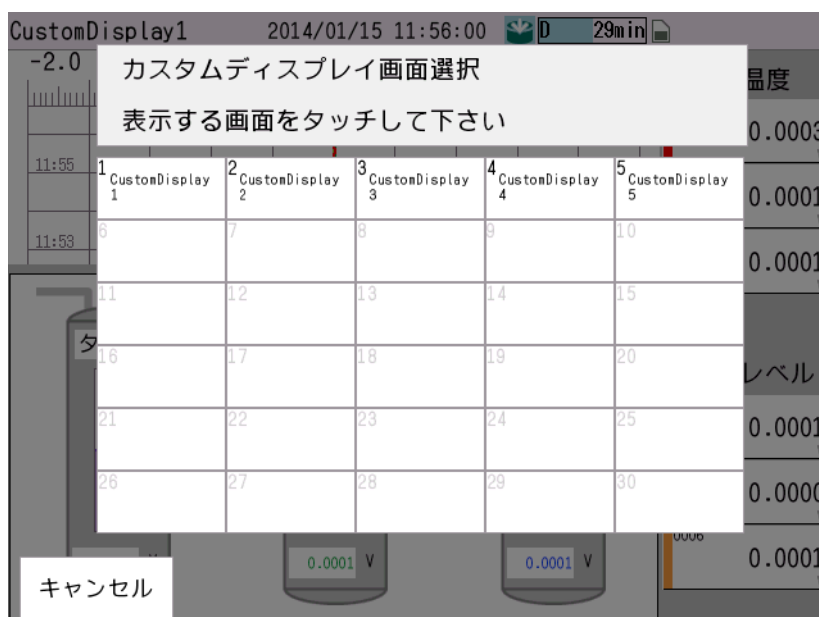
### カスタムディスプレイを表示する

1. MENU キーを押します。  
メニュー画面が表示されます。
2. [画面変更] タブをタップします。
3. [カスタムディスプレイ] をタップします。  
DAQStudio から送信したカスタムディスプレイ画面が表示されます。



カスタムディスプレイ画面の表示中は、下記のカスタムディスプレイ画面選択メニューが表示されます。表示したい画面番号をタップすると、カスタムディスプレイ画面が表示されます。

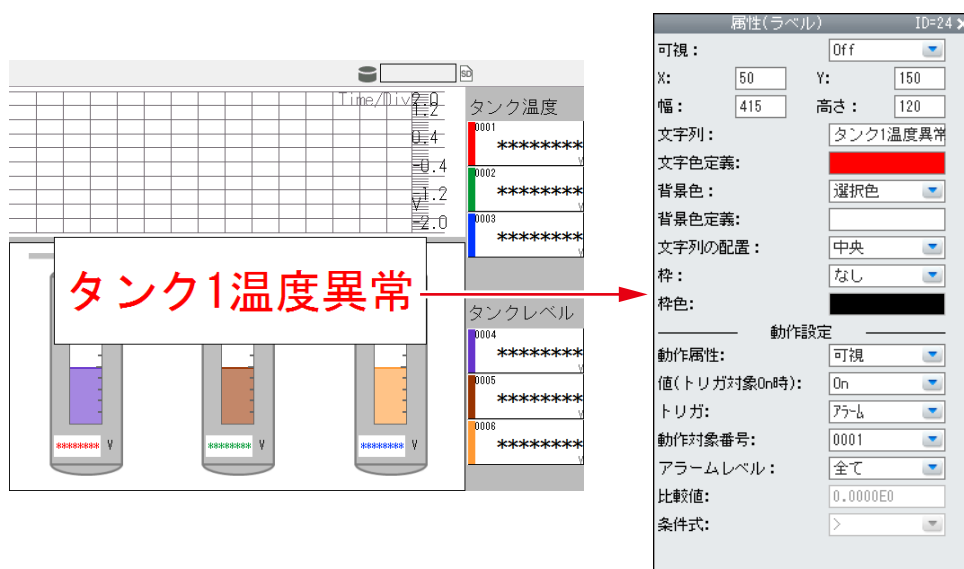
- ・画面データがロードされていない画面番号は、グレイアウトになっています。
- ・画面名がないカスタムディスプレイ画面は、画面番号のみ表示されます。



# 付録1 トリガに対応した部品の表示を設定する

カスタムディスプレイ画面では、部品属性の設定により、トリガ(アラーム/スイッチ/比較値)に対応した表示動作を設定できます。

## アラームがオンのときに「タンク1温度異常」の文字列を表示する場合



1. 部品バーのラベルアイコンを使って、「タンク 1 温度異常」を最前面に作成します。  
トレンド表示部品に重ならないように配置します。  
トレンド表示部品とほかの種類部品(他部品)が重なると、他部品は表示できません。
2. 「タンク 1 温度異常」のラベル部品を選択し属性を設定します。

| 属性      | 設定値               | 内容                                  |
|---------|-------------------|-------------------------------------|
| 可視:     | Off               | 通常運転時は非表示                           |
| 文字列:    | タンク 1 温度異常        | 表示する文字列(64文字まで入力可)                  |
| 文字色定義:  | 赤 255、緑 0、青 0     | 表示する文字色を RGB で指定                    |
| 背景色:    | 選択色               | 背景色定義で指定                            |
| 背景色定義:  | 赤 255、緑 255、青 255 | 表示する背景色を RGB で指定                    |
| 文字列の配置: | 中央                | ラベル部品の中央に文字列を配置<br>(左寄せ/中央/右寄せから選択) |
| 枠:      | なし                | なし(初期値)<br>(なし/色枠/凸枠/凹枠から選択可)       |
| 枠色:     | ---               | 色枠のときに RGB で指定可                     |

### 動作設定

|                |      |                                    |
|----------------|------|------------------------------------|
| 動作属性:          | 可視   | アラーム発生時に表示                         |
| 値(トリガ対象 On 時): | On   | アラームがオンで表示                         |
| トリガ:           | アラーム | トリガ対象<br>(アラーム/スイッチ/比較値から選択可)      |
| 動作対象番号:        | 0001 | アラームの対象チャンネル                       |
| アラームレベル:       | 全て   | アラームレベルのすべてが対象<br>(1/2/3/4/全てから選択) |
| 比較値            | ---  | トリガの設定が比較値のときに設定可                  |
| 条件式            | ---  | トリガの設定が比較値のときに設定可                  |

上記の設定により、GX/GP 本体で設定したチャンネル 0001 のアラームレベル 1～4 のいずれかが「オン」になったときに「タンク 1 温度異常」の文字列が表示されます。

## 付録2 部品アイコン一覧(GX/GP用)

| 部品種類                      | アイコン名称      | アイコン  | 説明  |
|---------------------------|-------------|---|---|
|                           | 編集          |    | 画面構築エリアの部品を選択します。   |
|                           | 移動 (編集範囲移動) |    | 画面構築エリアにスクロールバーが表示されているときに、画面構築エリアをドラッグして表示範囲を移動します。  |
| 図形部品<br>(一般部品)            | 線           |    | 任意の2点を結ぶ直線を作成します。   |
|                           | 長方形         |    | 任意にドラッグした点を対角とする長方形を作成します。  |
|                           | 円           |    | 任意にドラッグした点を対角とする四角形に内接する正円を作成します。   |
| チャンネル割り当て<br>部品<br>(一般部品) | 簡易デジタル      |    | 指定チャンネルのデジタル値を表示する簡易デジタル部品を作成します。   |
|                           | マルチ表示簡易デジタル |    | 指定チャンネルのデジタル値を表示し、瞬時値またはアラーム値の状態に応じて、文字色、背景色を切り替えられる簡易デジタル部品を作成します。   |
|                           | デジタル        |    | 簡易デジタルに、タグ(文字列/No.)/チャンネル番号、単位、アラームインジケータ付加した部品を作成します。  |
|                           | 簡易バーグラフ     |    | 指定チャンネルのバーグラフを表示する簡易バーグラフ部品を作成します。  |
|                           | バーグラフ       |    | 簡易バーグラフに、タグ(文字列/No.)/チャンネル番号、単位、デジタル値を付加した部品を作成します。   |
|                           | タグ No.      |   | 指定チャンネルのタグ No. を表示する部品を作成します。   |
|                           | タグ文字列       |  | 指定チャンネルのタグコメントを表示する部品を作成します。  |
|                           | 単位          |  | 指定チャンネルの単位を表示する部品を作成します。  |
|                           | アラームインジケータ  |  | 指定チャンネル、指定レベルのアラーム状態を表示する部品を作成します。  |
|                           | スパン         |  | 指定チャンネルのスパン上限値/下限値を表示する部品を作成します。  |
| 状態表示部品<br>(一般部品)          | システムアイコン    |  | システムアイコンを表示する部品を作成します。<br>システムアイコンの種類には、  メモリサンプル、  アラーム、  SDカード、  演算、  操作ロック、  メール、  機器情報、  ユーザ無効、  プログラムがあります。 |
|                           | グループ名       |  | グループ名を表示する部品を作成します。   |
|                           | バッチ名        |  | バッチ名を表示する部品を作成します。  |
|                           | ユーザ名        |  | ユーザ名を表示する部品を作成します。  |
|                           | 日付時刻        |  | 日付時刻を表示する部品を作成します。  |
|                           | メモリサンプルバー   |  | メモリサンプルの進捗状況を表示する部品を作成します。  |
|                           | バッチグループ番号   |  | マルチバッチのバッチグループ番号を表示する部品を作成します。  |
|                           | バッチ番号       |  | バッチ番号を表示/編集する部品を作成します。  |
|                           | ロット番号       |  | ロット番号を表示/編集する部品を作成します。  |

| 部品種類                  | アイコン名称        | アイコン  | 説明  |
|-----------------------|---------------|---|---|
| 状態表示部品<br>(一般部品)      | バッチコメント       |    | バッチコメントを表示/編集する部品を作成します。                              |
|                       | テキストフィールドタイトル |    | バッチテキストフィールドのタイトルを表示する部品を作成します。                       |
|                       | テキストフィールド文字列  |    | バッチテキストフィールドの文字列を表示/編集する部品を作成します。                     |
| ラベル部品<br>(一般部品)       | ラベル           |    | 任意の文字列を表示するラベルを作成します。                                 |
|                       | マルチ表示ラベル      |    | 指定チャンネルの状態に応じて、文字列、文字色、背景色を切り替えて表示するラベル部品を作成します。      |
| アクション機能付き部品<br>(一般部品) | DO・内部スイッチ     |    | 内部スイッチの状態を表示し、操作により内部スイッチの ON/OFF を切り換えるスイッチ部品を作成します。 |
|                       | ボタン操作         |    | ボタンを表示する部品を作成します。                                     |
|                       | 数値操作          |    | 指定の通信入力データの値を表示したり、通信入力データとして値を書き込んだりする部品を作成します。      |
| 静止画表示部品<br>(一般部品)     | 図             |    | PNG 形式の静止画を表示する部品を作成します。                              |
| サマリ表示部品               | アラームサマリ       |    | アラームサマリを表示する部品を作成します。                                 |
|                       | メッセージサマリ      |    | メッセージサマリを表示する部品を作成します。                                |
| トレンド表示部品              | トレンド          |    | 指定グループのトレンドを表示するトレンド部品を作成します。                         |
| コントローラ専用部品<br>(一般部品)  | コントローラ        |  | ループ制御監視用の部品を作成します。                                    |
|                       | 外部コントローラ      |  | 通信チャンネルを使用して制御運転状態監視や制御操作に使用できる部品を作成します。              |
|                       | 制御アラームインジケータ  |  | 指定ループのアラーム状態を表示する部品を作成します。                            |







一般部品： 1画面に200個作成できます。部品IDは作成した順に0～199が割り当てられます。  
 トレンド表示部品： 1画面に6個作成できます。部品IDは作成した順に200～205が割り当てられます。  
 サマリ表示部品： 1画面に4個作成できます。部品IDは作成した順位206～209が割り当てられます。

## 付録3 メニュー、アイコン一覧

### ファイル (F) メニュー

| 項目               | アイコン  | ショートカットキー | 説明   |
|------------------|---|-----------|--|
| 新規作成 (N)         |  | Ctrl+N    | 現在のすべて画面を破棄して新しい画面を作成します。  |
| 開く (O)           |  | Ctrl+O    | 画面構築ファイルをロードします。ロードしたファイルがあったフォルダが保存対象フォルダになります。                 |
| 上書き (S)          |  | Ctrl+S    | 画面構築ファイルを保存対象フォルダに上書き保存します。                                      |
| 名前を付けて保存 (A)     | —   | —         | 保存先のフォルダを指定して画面構築ファイルを保存します。このフォルダが保存対象フォルダになります。                |
| エクスポート (E)       | —   | —         | 指定したフォルダに画面構築ファイルごとにサブフォルダを生成し、画面構築ファイルを保存します (GX/GP の外部メディア形式)。 |
| インポート (I)        | —   | —         | GX/GP の外部メディア形式で保存されている画面構築ファイルをインポートし表示します。                     |
| プロジェクト情報読み込み (L) | —   | —         | GA10 のプロジェクト情報ファイル (.pjf) を読み込みます。                               |
| 終了 (X)           | —   | —         | DAQStudio を終了します。  |

### 編集 (E) メニュー

| 項目         | アイコン  | ショートカットキー | 説明                             |
|------------|---|-----------|--------------------------------|
| 元に戻す (E)   |   | Ctrl+Z    | 編集操作の一つ前に戻ります。                 |
| やり直し (R)   |  | Ctrl+Y    | 元に戻した編集をやり直します。                |
| 切り取り (T)   |  | Ctrl+X    | 対象をクリップボードへ移動します。              |
| コピー (C)    |  | Ctrl+C    | 対象をクリップボードへコピーします。             |
| 貼り付け (P)   |  | Ctrl+V    | クリップボードから対象をコピーして指定した位置に移動します。 |
| すべてを選択 (L) | —   | Ctrl+A    | 画面構築エリアですべての部品を選択します。          |
| 削除 (D)     | —   | Delete    | 対象を削除します。                      |
| 画面追加 (A)   |  | —         | 新しい画面を画面リストに追加します。             |

### 表示 (V) メニュー

| 項目            | アイコン | ショートカットキー | 説明  |
|---------------|------|-----------|---|
| チャンネル/ループ (C) | —    | —         | チャンネル番号またはループ番号をチャンネルリストに表示します。                       |
| タグ No.(N)     | —    | —         | タグ No. をチャンネルリストに表示します。                               |
| タグコメント (M)    | —    | —         | タグコメントをチャンネルリストに表示します。                                |
| グリッド (D)      | —    | —         | グリッド間隔を表示します。<br>1 ドット /5 ドット /10 ドット /20 ドット /50 ドット |
| 画面リスト (P)     | —    | —         | 画面リストを表示します。  |
| 操作エリア (O)     | —    | —         | 操作エリアを表示します。  |
| 属性エリア (A)     | —    | —         | 属性エリアを表示します。  |
| 部品バー (B)      | —    | —         | 部品バーを表示します。   |
| アレンジバー (R)    | —    | —         | アレンジバーを表示します。   |

## 画面 (S) メニュー

| 項目                   | アイコン | ショートカットキー | 説明                             |
|----------------------|------|-----------|--------------------------------|
| DX Advanced R3(3)    | —    | —         | 画面を DX リリース番号 R3 用に設定します。      |
| DX Advanced R4.01(0) | —    | —         | 画面を DX リリース番号 R4.01 用に設定します。   |
| DX Advanced R4.11(1) | —    | —         | 画面を DX リリース番号 R4.11 用に設定します。   |
| GX/GP R2(2)          | —    | —         | 画面を GX/GP リリース番号 R2 用に設定します。   |
| GX/GP R3(4)          | —    | —         | 画面を GX/GP リリース番号 R3 用に設定します。   |
| GX/GP R4(6)          | —    | —         | 画面を GX/GP リリース番号 R4 用に設定します。   |
| GA10 R3.01(5)        | —    | —         | 画面を GA10 リリース番号 R3.01 用に設定します。 |
| GA10 R3.02(7)        | —    | —         | 画面を GA10 リリース番号 R3.02 用に設定します。 |


## 配置 (A) メニュー

| 項目        | アイコン  | ショートカットキー | 説明                                  |
|-----------|---|-----------|-------------------------------------|
| 左端 (L)    |    | —         | 選択した部品の左端を基準部品の左端に揃えて配置します。         |
| 左右中央 (Z)  |    | —         | 選択した部品の左右方向中央を基準部品の左右方向中央に揃えて配置します。 |
| 右端 (R)    |    | —         | 選択した部品の右端を基準部品の右端に揃えて配置します。         |
| 上端 (P)    |    | —         | 選択した部品の上端を基準部品の上端に揃えて配置します。         |
| 上下中央 (V)  |    | —         | 選択した部品の上下方向中央を基準部品の上下方向中央に揃えて配置します。 |
| 下端 (M)    |   | —         | 選択した部品の下端を基準部品の下端に揃えて配置します。         |
| 左右に整列 (N) |  | —         | 選択した部品を横に並べ等間隔に配置します。               |
| 上下に整列 (I) |  | —         | 選択した部品を縦に並べ等間隔に配置します。               |
| 高さ (H)    |  | —         | 選択した部品の高さを基準部品の高さに揃えます。             |
| 幅 (W)     |  | —         | 選択した部品の幅を基準部品の幅に揃えます。               |
| 最前面 (T)   |  | —         | 選択した部品が一番前面に表示されるように配置します。          |
| 最背面 (B)   |  | —         | 選択した部品が一番背面に表示されるように配置します。          |
| 前面 (O)    |  | —         | 選択した部品が1つ前面に表示されるように配置します。          |
| 背面 (A)    |  | —         | 選択した部品が1つ背面に表示されるように配置します。          |

## 通信 (C) メニュー

| 項目     | アイコン  | ショートカットキー | 説明                        |
|--------|---|-----------|---------------------------|
| 受信 (R) |  | —         | GX/GP 本体から画面構築ファイルを受信します。 |
| 送信 (S) |  | —         | GX/GP 本体へ画面構築ファイルを送信します。  |

## ヘルプ (H) メニュー

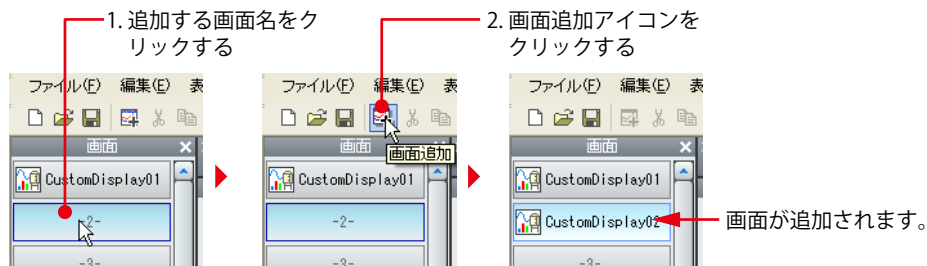
| 項目          | アイコン  | ショートカットキー | 説明                  |
|-------------|---|-----------|---------------------|
| 取扱説明書 (U)   | —   | F1        | 取扱説明書を表示します。        |
| バージョン情報 (A) |  | —         | バージョン情報ダイアログを表示します。 |

## 付録4 その他の操作

### ■ 画面を追加する/コピーする

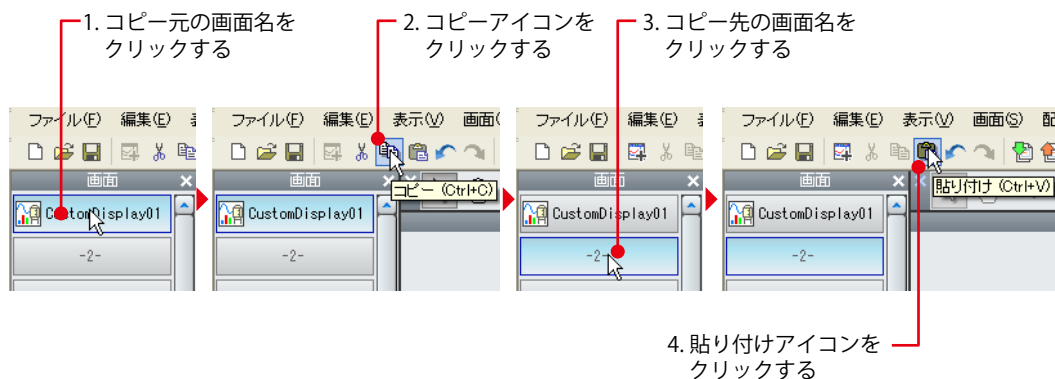
カスタムディスプレイ画面を複数作成する場合、新規画面を追加するか、または作成した画面をコピーして追加することができます。カスタムディスプレイは、30個まで追加できます。

#### 画面の追加



画面リストの画面名が変更され、GX10/GP10 または GX20/GP20 の画面構築エリアが表示されます。

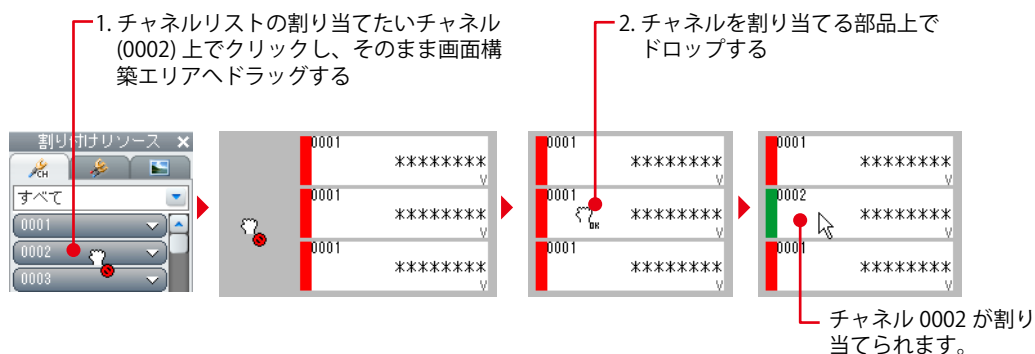
#### 画面のコピー



画面が貼り付けられます。画面名は「Copy」+「コピー元の画面名」になります。

### ■ 部品にチャンネルを割り当てる

チャンネルリストからドラッグ&ドロップ操作で、部品(チャンネル割り当て部品)にチャンネルを割り当てることができます。





# 付録5 外部記憶メディアから画面データを 読み込む

外部記憶メディア (SD カード) に保存した画面データを GX/GP 本体で読み込む操作です。

## ■ 指定画面を読み込む

1. MENU キーを押します。  
メニュー画面が表示されます。

2. 以下の順に項目をタップします。

[画面変更] タブ > [セーブロード] > [設定ロード] > [カスタムディスプレイ] > [カスタムディスプレイ指定画面ロード]

下記の画面が表示されます。

| セーブロード   |        | 2014/01/14 18:17:49 | D |
|----------|--------|---------------------|---|
|          |        | ← カスタムディスプレイ指定画面ロード |   |
| ↑ 表示データ  | メディア種類 | SD                  |   |
| ↑ 入力データ  | ファイル選択 |                     |   |
| ↑ 設定ロード  | 画面名    |                     |   |
| ↑ 設定セーブ  | 画面番号   |                     |   |
| ↑ ファイル一覧 | データ    | 1<br>有              |   |
|          |        | 実行                  |   |
| → 閉じる    |        |                     |   |

3. [メディア種類] をタップして、メディア (SD) を選択します。

4. [ファイル選択] をタップして、ファイル (Custom01.GCD ~ Custom30.GCD) を選択します。

画面名に DAQStudio で設定した画面名が表示されます。

必要に応じて画面番号を設定します。

5. [画面番号] をタップして番号 (1 ~ 30) を選択します。

画面番号： カスタムディスプレイ画面に割り付ける番号 (1 ~ 30) です。通信経由でカスタムディスプレイ画面を指定する場合などに必要です。

画面番号を設定すると、データ「無」が「有」になります。

6. [実行] をタップします。

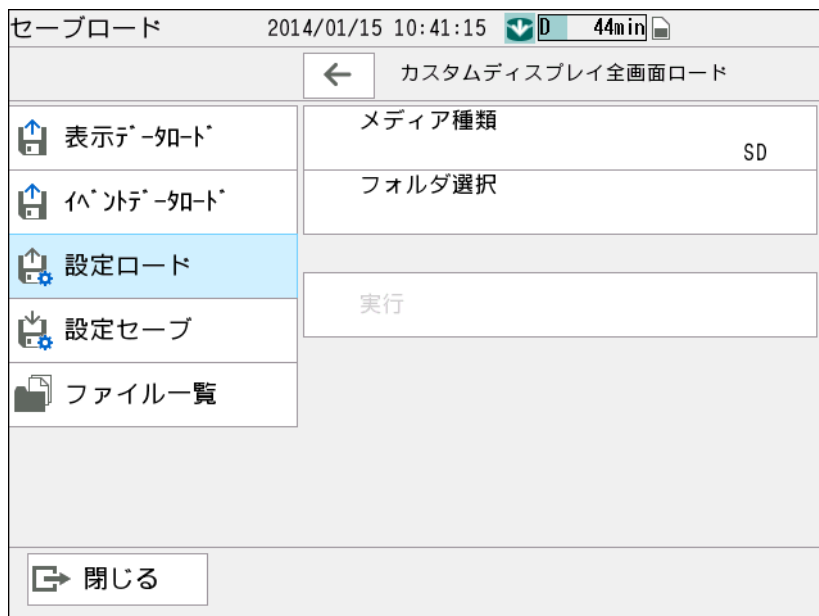
カスタムディスプレイ画面データが外部記憶メディアから内部メモリへ読み込まれます。

## ■ 全画面を読み込む

1. MENU キーを押します。  
メニュー画面が表示されます。

2. 以下の順に項目をタップします。

[画面変更] タブ > [セーブロード] > [設定ロード] > [カスタムディスプレイ] > [カスタムディスプレイ全画面ロード]  
下記の画面が表示されます。



3. [メディア種類] をタップして、メディア (SD) を選択します。
4. [フォルダ選択] をタップして、読み込むフォルダを選択します。
5. [実行] ボタンをタップします。  
カスタムディスプレイ画面データが外部記憶メディアから内部メモリへ読み込まれます。

---

# 技術資料 改訂情報

資料名称 : GX/GP カスタムディスプレイ設定ガイド

資料番号 : TI 04L51B01-03JA

2014年4月／初版  
新規発行

2017年6月／2版  
部品アイコンの追加（マルチ表示簡易デジタル、マルチ表示ラベル、バッチグループ番号、バッチ番号、ロット番号、バッチコメント、テキストフィールドタイトル、テキストフィールド文字列、コントローラ、外部コントローラ、制御アラームインジケータ）

---

■ 著作者 横河電機株式会社  
■ 発行者 横河電機株式会社  
〒 180-8750 東京都武蔵野市中町 2-9-32

---

